

はまごう小だより

自分が大好き！あなたが大好き！！

伊勢市立浜郷小学校
令和2年6月15日
発行者 平生 理恵

第6号

通常の学校生活が始まりました。

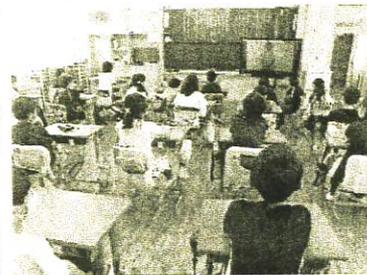
6月1日から通常の学校生活が始まりました。通常とは言うものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、子どもたちには一人ひとりが基本的感染対策を心がけるよう声かけを続けています。学校では、日常生活を営む上での基本的な生活様式を取り入れています。給食の準備で、給食室前に並ぶときには間隔をあけて並んだり、図書室での読書については座らない席を作ったりして、密にならないようにしています。

全国で様々な規制が緩くなっているようですが、決して新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありません。引き続き、毎朝の検温、マスクの着用、こまめな手洗いをお願いします。



児童会活動がスタートしました！

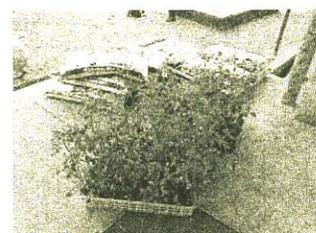
学校再開が延期したことで、児童会役員選挙がずいぶん遅くなってしまいましたが、5月28日に前日にビデオ撮りした演説を見て、その後投票を行いました。立候補者は、どの子どもも真剣に、浜郷小学校をより良い学校にしたいというしっかりとした意思表示をしていました。投票権を持った5・6年生の子どもたちは、立候補者の演説にしっかりと耳を傾け投票を行っていました。即日開票を行い、6月5日に児童会役員と委員会の委員長、6日に学級委員の認証式を行いました。認証された子どもたちの顔からは重責を担った緊張とこれから自分たちがみんなをリードしていくんだという意欲が感じられました。期待しています。頑張ってください。



会長	6年C組	中川 新太(なかがわ しんた)
副会長	6年C組	山川 蒼司(やまかわ そうし)
副会長	5年A組	磯和 佳輝(いそわ よしき)
書記	6年B組	福田 真央(ふくた まお)
書記	5年A組	平賀 心那(ひらが ここな)

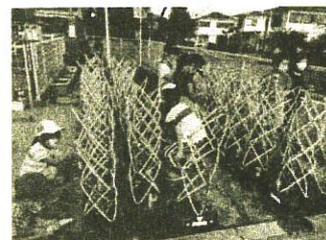


学級園がにぎやかです！



学校休業が延長されたことで、様々な活動がストップしていました。2年生が生活科で育てるトマトの苗も、ポットに植え替えてもらえる日を今か今かと待っていました。そして、通常授業が始まった6月1日に、ようやく子どもたち一人ひとりのポットに移されました。

子どもたちはていねいに、トマトの苗を自分のポットに植えていました。しばらく置いておいた苗なので、すでにいくつか実がつき、子どもたちは「赤ちゃんトマトがついとる〜！」「僕のは3つもある！」と嬉しそうでした。ポットに植え替えられたトマトは駐車場側にある学級園のところにきれいに並べられ、毎朝子どもたちが「早く赤くなってね。」と声をかけながらせっせと水やりをしています。



3年生ではホウセンカやヒマワリの種を蒔いて成長を観察しています。



5年生はインゲン豆を蒔き、条件を変えながら観察して、植物の成長には何が必要なのかを学習しています。



ごみステーションを見学しました。

4年生の子どもたちは、社会科でごみの学習をしています。清掃課の方に来ていただいてパッカー車も見せていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、今しばらく外部の方に来ていただいて教えていただく出前授業等を控えています。そこで、今回は学校近辺のごみステーションを見学しました。実際に自分の目で見ると子どもたちは実にたくさんのことを発見します。ごみの出し方にはどんなルールがあるのか、毎日家庭から出されるごみはどのように回収されていくのか、ごみステーションにはどんな工夫がされているのかなど、いろいろ気付くことがあったようです。

毎回回収に来てくださる方に感謝の気持ちを持ち、できるだけごみを出さないように心がけることも大切なことです。

さて、教室ではどのような話し合いがなされたのでしょうか。

